



公民館図書だより

北塩原村公民館 令和6年3月 第35号



芥川賞・直木賞の受賞作と候補作が届きました！

第170回の芥川賞受賞作・九段理江さんの『東京都同情塔』と、直木賞受賞作・河崎秋子さんの『ともぐい』、万城目学さんの『八月の御所グラウンド』をはじめ、候補作の一部も入荷しました。

芥川賞受賞作

『東京都同情塔』

九段 理恵・著

犯罪者に対しても寛容な社会となった架空の東京が舞台です。著者の九段さんは、生成AIを駆使しながらこの小説を書き上げたそうです。様々な種類の文体や、多分野の単語が押し寄せるような本文ですが、読みにくそうに見えて以外にもどんどん読めてしまうから不思議です。感想は、読者の年齢によってかなり違ってくるのではないかなと思います。ぜひ一読ください♪

その他入荷した受賞作・候補作

	書名	著者名	出版社
芥川賞候補作	アイスネルワイゼン	三木 三奈	文藝春秋
直木賞受賞作	ともぐい	河崎 秋子	新潮社
直木賞受賞作	八月の御所グラウンド	万城目 学	文藝春秋
直木賞候補作	なれのはて	加藤 シゲアキ	講談社
直木賞候補作	襷がけの二人	嶋津 輝	文藝春秋
直木賞候補作	ラウリ・クースクを探して	宮内 悠介	朝日新聞出版
直木賞候補作	まいまいつぶろ	村木 嵐	幻冬舎

その他にも新刊一般書を多数購入しました。新入荷図書リストをホームページ「令和5年度 公民館図書だより3月号を発行しました」の記事中のExcelファイルをご覧ください。印刷したリストをご希望の方は、お気軽に公民館にご連絡ください。

平安時代の文学と 習俗・習慣 特集

大河ドラマで関心が高まっている平安時代の宮廷ですが、時代背景をもっと知りたいと思っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。関連本を活用して、もっとドラマを楽しんでみてください♪

- 『世界で一番素敵な源氏物語の教室』吉海直人／三オブックス
- 『語りたくなる紫式部 平安宮廷の表と裏』吉井美弥子／主婦と生活社
- 『平安朝のファッション文化』鳥居本幸代／春秋社
- 『平安京の風景』井上満郎／文英堂
- 『王朝貴族のおまじない』繁田信一／ビイング・ネット・プレス
- 『陰陽師 安倍晴明の末裔たち』荒俣宏／集英社

このコーナーでは村民のみなさんから、「おもしろかった!」「おすす
めしたい!」とお知らせいただいた本を紹介します。



村民のおすすめ本

今回は村内在住の方のおすすめ、

『水車小屋のネネ』 著/津村記久子 毎日新聞出版 です。

第 59 回谷崎潤一郎賞を受賞した本作は、ある姉妹とそれを見守る
人々、その中心にいる 1 羽のヨウム・ネネの 40 年を描いた作品です。

人生で起きる様々な出来事や出会い・別れを丁寧に描くことで、ごく
普通の人々が、支え合って生きることの尊さをしみじみと感じさせてく
れます。



こちらの本は生涯学習センターにあります。ぜひご利用ください。
また、紹介したい本がありましたら公民館までお知らせください。

年長さんが遊びに来てくれました♪

さくら幼稚園の年長さんが図書室に来てくれま
した。幼稚園では読み聞かせがブームになってい
るそうで、お友達同士で読み聞かせをしている子
がたくさんいました!また来てね☆



今月のミニ展示

今月の展示テーマは、「ずっと友だち」で
す。卒業シーズンの3月は別れの季節かもしれ
ません。友情をテーマにした小説やエッセ
イを集めました。

ぜひお手に取ってご覧ください。

今月のおすすめ 児童書・えほん

児童書

『あっちもこっちもこの世はもれなく』

作/いとうみく 絵/ころりよ

4年生の公太は背が低いのが悩みです。バレー
ボールが好きなので、同級生で背が高い、希来里
に少し嫉妬しています。しかし、騎手になりたい
希来里は背が伸びることがうれしくありません。

この本のタイトルにはどんな言葉が続くでしょ
うか?自分ではどうしようもないことで悩んだ
時、ぜひ手に取ってほしい本です。

えほん

『おおきくなるっていうことは』

さく/中川ひろたか え/村上康成 童心社

「おおきくなる」ってどんなことでしょう?
この絵本には、子どもたちにも伝わる言葉
で、大きくなるとできるようになることや、で
きるようになってほしいことが書いてありま
す。

家族でお子さんの成長を喜びきっかけにして
みてはいかがでしょう。